

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あぜ道

## 目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 8 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	消防計画に伴い、避難訓練は定期的に行い手順や誘導の確認は出来ているものの、避難時間短縮に向けた工夫や取り組みができていない。また、訓練に緊張がなく、その場しのぎの訓練となっており、向上したものになっていない。	全ご利用者の避難誘導がより安全にできるようになる。また、避難時間の短縮が出来るようになる。一人一人の職員は、いつ災害があり避難が必要になってもその時の最善の避難誘導が出来るようになる。	避難訓練時に職員がご利用者役を行いどこを支えると、痛みや無理が少なく移動がよりスムーズに出来るのかを知る。一人一人の職員は”もしこれが実際の場合であったら”との緊張感を持つ事で、要改善点を見つけ次に生かしていく。	24ヶ月
2	20	一人一人のご利用者の楽しみや思い、希望をより多く見つけることが出来れば、今よりも充実した生活を送って頂けるのではないかと。	ご利用者の思いや希望を叶える事ができ、より生きがいと楽しみを持って生活して頂く事ができる。	以前あった”願い叶います帳”(ご利用者の願い・希望を書きだすノート)を、もう一度作りご利用者の願いを書き出す事で、具体的に叶えていく。日頃の会話や行動の様子から思いや希望を見つけ出し、なるべくその時に叶えていく。出来ない時は願い叶えます帳に記入し全職員でその方の願が叶えられるようにして行く。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。